

早稲田大学 文学部 国語 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式・記述式併用
試験時間	90分(現代文2問、古文1問、漢文1問)
難易度	昨年比、易化

〔大問別講評〕

(一) 評論文。「AIと従いそこねの可能性」について。

出典:大屋雄裕『AIにおける可謬性と可傷性』。

《本文字数:約 5100 字＝昨年より約 400 字増加。設問数:8＝昨年と同じ。》

小問	難易度	コメント
問一	やや易	【理由説明】直後の二段落の内容から、容易に判断できるだろう。
問二	標準	【空欄補充】傍線部に続く内容から、傍線部の意味を捉える。「処罰の予告をしなくとも、法に人を従わせる力がある」ということである。34行目にある。
問三	やや易	【傍線部説明】傍線部と同段落の内容から、容易に判断できる。
問四	標準	【空欄補充】動物が何を持たないかについては、第三段落に「自律的主体」ではない、とある。
問五	やや易	【傍線部説明】前段落から、AIやロボットに対しては規範は無意味であることが読み取れる。
問六	やや易	【傍線部説明】同段落と次段落の具体例のまとめとして適切な選択肢を選ぶ。
問七	標準	【趣旨合致】イは「従いそこねを…」以下が、ハは「一切の例外を…」以下が、ニは「動物に対しても有効」が、それぞれ不適切である。
問八	標準	【漢字書き取り】Cの「賭」の「点」を忘れないようにしたい。

(二) 評論文。「ファッションにおけるジェンダー不正義」について。

出典:西條玲奈『ジェンダー』(『ファッションスタディーズ』所収)。

《本文字数:約 3600 字＝昨年より約 300 字減少。設問数:9＝昨年と同じ。》

小問	難易度	コメント
問九	標準	【傍線部説明】同段落の内容から判断できる。イは「どのアイテムを排除…」以下が不適切である。
問十	標準	【傍線部理解】文章冒頭から直前までの本文と照合する。ロは「社会の大多数…力はなく」が不適切である。
問十一	やや易	【理由説明】同段落の内容から容易に判断できるだろう。
問十二	やや易	【傍線部説明】どういう人々を周縁化(＝周囲に追いやる)するのかを、前段落と同段落から読み取る。
問十三	標準	【傍線部説明】どのようなニーズがあるのかを直前の内容から捉える。イは「それぞれの売り場で…」以下が40～41行に反し、不適切である。
問十四	やや易	【空欄補充】「記号」(＝意味をもつもの)と「規範」(＝きまり)の意味の違いがわかれば容易に判断できるだろう。
問十五	標準	【傍線部説明】同段落と次段落の内容から判断する。
問十六	標準	【理由理解】ファッション業界がジェンダー規範にどのような影響を与えうるかが問われている。ハは両者の逆の関係が書かれている。
問十七	標準	【趣旨合致】ロ・ハ・ニは、いずれも後半の内容が不適切である。

〔大問別講評〕

(三) 古文。出典：『和泉式部日記』。

《本文字数：約 1050 字＝昨年より約 700 字減少。設問数：7＝昨年より 1 問減少。》

小問	難易度	コメント
問十八	易	【助動詞の意味】いずれも基本中の基本である。
問十九	標準	【傍線部理解】1＝傍線部が帥の宮から女への手紙であること、及び、傍線部までの内容から判断する。2＝直後の内容とのつながりから判断する。
問二十	やや易	【敬意の対象】eは女への敬意。他は帥の宮への敬意である。
問二十一	やや易	【和歌の修辞法】ロの「関を飛び越える…」が不適切なのは明らかだろう。
問二十二	標準	【空欄補充】傍線部3の和歌への返歌であることから考える。
問二十三	標準	【傍線部理解】傍線部までの内容から判断する。消去法が有効である。
問二十四	標準	【内容合致】ハは波線部cのある行の内容と合致する。

(四) 漢文。出典：夏目漱石『木屑録』。

《本文字数：201 字＝昨年より 16 字減少。設問数：5＝昨年より 1 問増加。》

小問	難易度	コメント
問二十五	やや易	【文脈把握】1～4行目の内容から判断する。「奸雄」は「悪知恵にたけた人物」の意。
問二十六	易	【空欄補充】押韻を意識すれば容易だろう。
問二十七	やや易	【傍線部理解】「皆を決する」で「目を大きく見開く」の意。「皆」と直後の内容とのつながりからも判断できる。
問二十八	標準	【傍線部理解】Aは漢文の語順から、Bは本文末4行の内容から判断する。
問二十九	やや難	【傍線部理解】本文末4行の内容から判断する。

〔総合コメント・今後の指針〕

全体の難易度は、昨年より易化した。高得点勝負になるだろう。現代文は、大問一と大問二ともに頻出テーマからの出題であった。また、2020 年に出题されていた大問二の 70～100 字の記述問題は今年も出題されなかった。

大問一は、「AIと従いそこねの可能性」についての評論文。昨年より易化した。基本・標準レベルの設問ばかりなので高得点を狙いたい。

大問二は、「ファッションにおけるジェンダー不正義」についての評論文。昨年より易化した。大問一と同様に高得点を狙いたい。

大問三は、『和泉式部日記』。昨年よりやや易化した。『和泉式部日記』をはじめとする有名作品については、事前に人物関係やあらすじを把握しておくといよい。

大問四は、『木屑録』。昨年よりやや難化した。本学部を受験する場合は、漢文の学習もしっかりしておきたい。